

お申し込み・お問い合わせ

◎所沢クリドラタウン実行委員会事務局

戸田 TEL 04-2928-0095

ホームページ <http://credra.org>

メールアドレス info@credra.org

※参加を希望される方は上記までまずご連絡ください。(希望者多数の場合お断りする場合があります。)

参加にあたっての注意事項

☆活動中はスタッフが常駐し安全面には充分配慮し、保険にも加入していますが、万一の事故や怪我についての責任は負いかねますのでご了承願います。

☆登録者の弟妹に限り小学生未満のお子さんの参加も可能ですが、その際は必ず保護者の方が同伴してください。

☆送迎は責任をもってお願いします。

☆活動記録のために写真撮影・ホームページへの掲載を行うことがあります。

☆子ども達の様子や活動の意味を知っていただくため、必要に応じて保護者の会を行います。

※以上をご確認のうえ、登録用紙に必要事項をご記入し、開催日にご持参ください。

25年度 所沢クリドラタウン 登録用紙

フリガナ

氏名 _____ 小学校名 _____ 学年 _____

住所 〒 _____

電話 _____ FAX _____
番号 _____ 番号 _____

緊急 _____ 電子メール _____ 急な予定変更などをメールでお伝えします。
連絡先 _____ アドレス _____

参加の _____
動機、 _____
期待する _____
ことなど _____

「参加にあたっての注意事項」 _____
を確認しました。 _____ 保護者署名 _____ 印 _____



楽しさ発見!みんなあつまれ

クレドラタウン

TOKOROZAWA Cre-Dra-Town

独立行政法人 国立青少年教育振興機構

平成25年度子どもゆめ基金

助成活動

さあ、想像の冒険をはじめよう!



音から想像する世界やおはなし



みんなで協力してかいじゅうになる



魔女にぬすまれた宝物をとりかえせ!



すてきな給食メニューをつくろう



いろいろなジャガイモ料理。食感のちがい、食べくらべ



暗闇迷路をぬけろ!



写真の人はどんなひと? どんなくらしをしてる?



不思議ないきものを考えてつくる



村をこまらせている怪物発見! さあどうする?

プログラムの特長

- 楽しく体を動かして心を高揚させ、意欲を引き出します。
- 安心して自分を出せる環境を作り、自己肯定感を育みます。
- 五感や好奇心を刺激し、集中力や観察力、想像力を高めます。
- 自由でオリジナルな発想を、身体・言葉・造形で表現する創造的な活動を行います。
- 共同で体を動かしたり、考えたりすることによってソーシャルスキルを磨き、さらなる創造につなげます。

募集要項

- ・対象：所沢市内の小学生（定員20名）
参加者は随時募集しております。
- ・保険料：2000円
- ・参加費：月額1000円
※活動内容により、別途材料費等（200～300円程度）がかかることがあります。その際は事前にお知らせ致します。
- ・講師：表現教育の専門講師（下川涼子 他 [NPO法人アートインライフ/月1回程度]）
所沢クリドラタウン講師（藤野裕子・吉岡由美・中根久寧・関口千賀子）
外部講師（大沢愛・多田純也・藤井崇絵・酒井弥生）
※クリドラタウンに関わってくださるボランティアスタッフも随時募集しています。

開催日程・場所

※いつからでも参加出来ます

月4回程度 年間35回程度（5～7月・9～3月）8月はお休みです

活動日：第一・三土曜日とそれぞれの翌週の木曜日

時間：土曜 11:00～12:30 木曜 16:30～18:00

場所：主に所沢市中央公民館

※年末年始は変則的な活動日になる場合があります。

また会場の都合などで活動日が変更・休止になる場合もあります。

詳しい日程は、ホームページをご覧ください。事務局にお問い合わせください。

参加時の注意：サンダルなどを避け、動きやすい服装で参加してください。

喉がかわくのでお茶などの飲み物をお持ちください。

5月・6月の活動日程(予定)：5月30日(木) 6月8日(土) 13日(木) 22日(土) 27日(木)

※このチラシで紹介している活動は以前に行った活動です、今期は別の活動をする場合もあります。

保護者の方へ

クリドラタウンでは想像力を使った遊びの場を提供します。ここでの“遊び”は「自己コントロール、集中力と反射神経、自己表現、相互理解、協調性など社会で生きていくための能力を楽しみながら身につける」ものとして考えています。

●クリドラタウンの遊び(活動例)

【新聞紙1枚だけで遊び尽くす】ただの紙でしかないものが船になり、崖の道になります。制限があるから想像力が広がり様々な対処方法を考え出すのです。

【魔女の館】河を渡り、ジャングルをぬけ、館に忍び込み、魔女に見つからないように部屋の中にあるものに化けて近づき、大切な宝をとりかえすという壮大な『だるまさんが転んだ』。舞台装置は何もなく、すべては想像の世界で展開します。

【ポートレートからその人を想像する】性格や家族構成を想像していくと、その人の生活や人生までが浮かびあがってきます。(ちなみに、この活動はフィンランドでは作文の授業に取り入れられています。)

【調理(食育)】スタッフが作ったとれたて野菜などを使い、香りや食感の違いを感じ分けたり、作る相手に思いを馳せたり、ただの料理以上の広がりを考えています。

【その他】暗闇の中での活動や、想像力を使った工作、五感を使った活動、運動会などを想像してその場の情景をみんなで作る『写真』の活動など。

こういった“遊び”の中で子どもたちは、決まった答えを強要されず、自由な発想を認められ、安心して自分を出せるようになります。異年齢の集団で互いの考えや創作したものにふれ、様々な個性と出会い、豊かな価値観を持てるようになります。そして、イメージを共有し、お互いに協力しあって想像の世界での難題を解決していきます。こういった創造的なドラマ活動(クリエイティブドラマ)を通して現実のコミュニケーション力やソーシャルスキルが高まり学校・社会での生きる力になります。



体験・読書活動などを応援し、子どもの健全育成の手助けをする「子どもゆめ基金」の助成によって、クリドラタウンは運営されています。